

岩手地鶏を活用した特産肉用鶏の開発

吉田 登・太田原健二*・仁昌寺 博**・小松繁樹・小野寺 勉・鷲盛 精***

〔 岩手県農業研究センター畜産研究所・*岩手県庁・**盛岡地方振興局農政部

***社団法人 岩手県畜産協会

Application of Iwate-Jidori for Development of Local Meat-type Chicken

Noboru YOSHIDA, Kenji OHTAWARA*, Hiroshi NISYOUJI**, Shigeki KOMATSU, Tsutomu ONODERA and Tsuyoshi WASHIMORI***

〔 Animal Industry Research Institute, Iwate Agricultural Research Center, *Iwate Prefectural Government Office, **Iwate Prefectural Morioka Area Promotion Office, *** Iwate Livestock Industry Association

1 はじめに

当研究所が開発した特産肉用鶏である「南部かしわ」は、ホワイトロックの雄とロードアイランドレッドの雌を交配した雌に、軍鶏を交配し作出している。

しかし、このホワイトロック及び軍鶏は、独立行政法人 家畜改良センター兵庫牧場から、毎年種卵で譲渡されたものを孵化して利用しており、地域特産としてのオリジナル性に乏しい状況にあり、本県在来の「岩手地鶏」を活用したコクがあり美味しい独自の特産肉用鶏の開発が望まれていた。

当研究所は、平成8年度から平成12年度にかけ、岩手県の在来鶏である天然記念物「岩手地鶏」を活用し基礎鶏〔軍鶏×(有色コーニッシュ×岩手地鶏(赤笹系))〕を作出した。岩手地鶏は、県北の山間部や紫波町から県南部にかけて飼養されていたが、一時絶滅の危機に陥り、昭和59年に文化庁より天然記念物に指定された。羽装により、「白笹種」、「赤笹種」等の内種に分けられる。飛翔力が強く、雌雄共同で子育てをし、野生色が強い。成鶏雄で1.8kg、雌で0.9kg程度である。

上記基礎鶏を活用した県独自のオリジナル高品質鶏作出の交配方法を検討したので報告する。

2 試験方法

(1) 供試鶏及び供試羽数

表1のとおり。

(2) 飼養管理及び飼料

0~4週齢までを電熱式バタリー育雛器で飼育し、以後7区に分け各30羽を間口2.7m、奥行き3.5mの平飼鶏舎に収容した。なお、ワクチネーションは当場の常法で行った。解体調査は、12,14,18及び22週齢で表1の羽数を任意抽出し実施した。

飼料は、ブロイラー仕上げ用飼料(CP18.5%、ME3,280kcal/kg)を飽食給与した。

3 試験結果及び考察

(1) 発育成績

雄の12週齢の発育成績は、2区で2,921g、4区で2,830g、1区で1,940gの順であった(表2)。出荷基準を2.8kgとすれば、2,4区は12週齢で出荷可能である。

雌の16週齢の発育成績は、2区で2,831g、4区で2,587g、1区で2,077g、3区で1,585gの順であった(表2)。出荷基準を2.8kgとすれば、2区は、16週齢で出荷が可能である。

2,4区の発育が良いのは、雌にブロイラー種であるホワイトロックが交配されたためと思われる。また、3区が他の区に比べ発育が劣ったのは、他の鶏種に比べ非常に小さい岩手地鶏を雄として直接交配したためと思われる。

(2) 官能試験

14週齢の雌の腿肉を利用した一対比較による官能試験の平均嗜好度の総合評価は、2区が他の区に比べ高い傾向にあった(図1)。

(3) 経済性

雄の12及び14週齢では、4区>2区>1区の順に正肉1kg当たり必要飼料費が優れる傾向があり、18週齢では、2区>4区>1区の順で優れる傾向があった。

雌の14及び18週齢では、2区>4区>1区>3区の順に正肉1kg当たり必要飼料費が優れてる傾向があり、22週齢では、4区>2区>1区>3区の順で優れる傾向があった(表3)。

発育の良い 2,4 区が経済性に優れる傾向にあった。他区に比べ発育の劣る 3 区は経済性でも劣る傾向にあった。

(4) 新特産肉用鶏の交配式

発育成績、官能試験に優れ経済性に優れる 2 区を新しい特産肉用鶏とする。

4 ま と め

平成 8～12 年度に、天然記念物「岩手地鶏」の血液が入った三元交配鶏〔軍鶏♂×(有色コーニッシュ♂×岩手地鶏(赤笹系)♀)を改良基礎群として選抜淘汰を繰り返し、軍鶏に替わる基礎鶏を作出した。

この基礎鶏に最も適した交配方法を決定するため組合せ試験を実施し、発育成績、肉質及び経済性等について調査した。その結果、基礎鶏♂×(ホワイトロック♂×ロードアイランドレッド♀)が、官能試験での総合評価が高く、また出荷基準を 2.8kg(雌)とした場合の飼育日数は、南部かしわ 18 週齢に対し 16 週齢と発育に優れた。

表 1 供試鶏及び供試羽数

区分	交配方法	性	供試 羽数	解体調査羽数			
				12	14	18	22 W
1	基礎鶏×N	雄	30	12	9	9	—
		雌	30	—	10	10	10
2	基礎鶏 × (WR×RIR)	雄	30	12	9	9	—
		雌	30	—	9	10	9
3	JW×(WR×RIR)	雌	30	—	10	10	9
4	G×(WR×RIR)	雄	30	12	9	9	—
		雌	30	—	9	9	10

※ WR:ホワイトロック、RIR:ロードアイランドレッド、N:名古屋種、JW:岩手地鶏(白笹系)、G:軍鶏、4区は、当研究所が昭和 60 年に開発した特産鶏「南部かしわ」

表 2 平均体重(g)

区分	雌雄	12 週齢	14 週齢	16 週齢	18 週齢	22 週齢
1	雄	1,940±163	2,357±205	2,810±201	3,136±218	—
	雌	—	1,843±99	2,077±106	2,225±129	2,760±147
2	雄	2,921±218	3,511±252	3,878±242	4,122±208	—
	雌	—	2,433±185	2,831±227	3,140±265	3,867±275
3	雌	—	1,363±156	1,585±168	1,719±157	1,779±103
4	雄	2,830±204	3,385±267	3,928±276	4,211±297	—
	雌	—	2,384±178	2,587±149	2,806±163	3,575±203

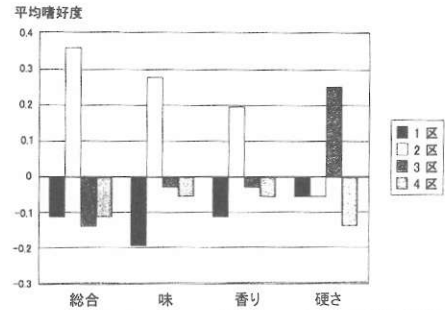


図 1 官能試験(雌 腿肉 14W)の平均嗜好度
パネラー数:9、評点:悪い-2、やや悪い-1、差が無い0、やや良い1、良い

表 3 1羽当たり飼料消費量及び経済性

雌雄	区分	週齢	正肉量	正肉 1kg 当たり 必要飼料費 (円)
雄	1	12	676a	383
		2	1,026b	317
		4	985b	313
	2	14	839a	404
		2	1,266b	337
		4	1,238b	326
	4	18	1,166a	509
		2	1,570b	418
		4	1,643b	452
雌	1	14	700a	379
		2	933b	350
		3	489c	417
	2	14	881b	359
		1	865a	439
		2	1,247b	383
	3	18	642c	481
		4	1,125d	402
	4	22	1,078a	522
		2	1,452b	517
		3	634c	834
	4	22	1,368b	489

異符号間で有意差有り(p<0.05)